

## 会 議 議 事 録

会 議 名	平成 28 年度 第 1 回 教育課程編成委員会	専門学校 東京工科自動車大学校 専門学校 東京工科自動車大学校世田谷校 専門学校 東京工科自動車大学校品川校
開催日時	平成 28 年 5 月 30 日 (木) 15:00 ~ 17:00	
会 場	東京テクニカルカレッジ B1 テラホール	
参 加 者	委員	18 人 (参加者) ・佐藤 康夫 (全体会議長)、 ◇1 級教育課程分科会 ・松村道隆 (1 級分科会議長) ・大石 安孝 ・甲斐 俊和 ・齋藤 昭男 ・谷川 潮 ・宮谷 真樹 ・山口 泰之 ・井上 真一 ・園田 幸祐 ◇2 級教育課程分科会 ・小林 完 (2 級分科会議長) ・佐々木 洋文 ・沼田 勇 ・小野 宗憲 ・田村 智 ・油井 文江 ・竹尾和也 ・澁谷 健 (欠席者) ・遠藤 新一
	事務局	1 人 開田 実
配布資料	<b>全体会</b> 全体会配布資料 A: 会議次第・会議進行資料 (PP) B: 平成 27 年度第 2 回教育課程編成委員会会議議事録 (前回会議議事録) C: 平成 27 年度 1 級課程分科会指摘事項等報告資料 (品川 1 級 新規科目) D: 平成 27 年度 2 級課程分科会指摘事項等報告資料 * 展覧資料 「H27 年度自己点検評価報告書」中野・世田谷・品川	
全体会 会議 録	◇出席者・配布資料確認 (事務局) <b>1. 開会挨拶</b> (全体会議長) 議長より平成 28 年度の本会議開催に向けて以下の報告がなされた。 ・職業実践専門課程関連 東京工科は他校に先駆け創設当初より文科省より認定。現在、専門学校全体では 30%、JAMCA 校 (全国自動車大学校・整備専門学校協会加盟校) の認定校は 60% と他の専門分野よりも企業連携を推進。	

- ・自己点検自己評価  
学校関係者評価委員会で事業成果を精査し了解して頂いている。
- ・H27年度 就職内定率実績報告  
企業様のご協力もあり順調に推移。年度末には100%を達成した。
- ・H28年度入学生数  
昨年より若干の若干名（6名）の減であるが、在籍数は微増となっている。
- ・H27年度資格合格率（国家試験合格率）  
二級国家試験は、JAMCA校平均と同様。  
一級国家試験は、中野校がJAMCA校平均以下。

中野校 1 級国家試験の合格率は重要な課題と受け止め、本年度に向けて科目の見直し、等の対策を行っている。分科会でも議案として取り上げ、多くご意見を頂きたい。

## 審議事項

### 2. 議事

#### ①委員の確認（事務局）

昨年度メンバーに加え、本年度より 1 級課程の新任科長として、中野校 1 級自動車整備科 園田科長、世田谷校 1 級自動車エンジニア科 井上科長を加えた委員構成としたいとの発言がなされた。

⇒ 全員一致で承認

#### ②前回議事録（H27 年度第 2 回教育課程編成委員会）の確認（事務局）

⇒ 全員一致で承認

#### ③平成 27 年度第 2 回教育課程編成委員会指摘事項改善報告

##### 1) 1 級課程分科会報告（山口委員・松村議長）

昨年度の分科会でのご意見に対して、資料を基に以下の内容の報告がなされた。

・品川 1 級科「グローバルメンテナンス技術」のコマシラバスを見直しについての報告がなされた。

→科目配置とシラバス資料の説明。また、品川校のみならず、必要不可欠な内容に関しては、中野校、品川校も取り入れる事としたい。

・「考える力」を身に付ける授業の一つとして、「プロジェクトセミナー」の評価方法の改定案

→「社会人基礎力」を主とする評価法を実施する事とする。これらは、本年度の 2 級分科会のメインの議案としたいと考えているので、ご意見を頂きたい。

##### 2) 2 級課程分科会報告（小林議長）

昨年度の分科会でのご意見に対して、資料を基に以下の報告がなされた。

・「車両整備と安全作業」について

→指摘事項にあった「安全を重視した作業」「締め付けトルクの重要性」は、科目の主軸とし、H28 年度の科目への落とし込みができたが、評価の方法について「安全性を重視した作業は、満点合格とする」は、今年度の推移をみて検討する。

・「電気装置の基本作業」について  
→指摘事項であるバッテリーの取り扱いは、1年2期で実施しており、「コマシラバス」「授業シート」「サブテキスト」「履修判定試験」を確認し、適切な対応であると判断をした。脱着時の取り扱いに関しても、2年2期での「エンジン脱着作業」において再確認が出来ている。

⇒平成27年度第2回教育課程編成委員会指摘事項改善報告に関して、全員一致にて承認。(※但し、「報告資料と議事録との参照指示性を良くしてほしい」との意見があり改善をすることとする)

## 1 級教育課程分科会

分科会配布資料

資料：1級登録試験 問題分析と今後の課題

1 級分科会  
配付資料

### 1. 平成27年度1級登録試験合格状況報告

山口委員より「中野校の不合格要因分析報告及び今後の課題」について、資料を基に、以下の報告がなされた。

→中野、世田谷校の合格率に差はあるが、正答率の低い問題は共通点があることが資料から読み取れる。中でも暗記力を要する問題の正答率が低い。背景には理解力を試される問題学習に時間がとられ、暗記問題に十分な時間が取れなかったことが一因として挙げられる。

現在、1年からの重点科目を抽出し、シラバス、コマシラバスの見直しを行っている。現4年生に対しては、1期から模擬試験と解答解説を定期的を実施し、教科書内容の理解度を高め暗記力・理解力問題を総合的に養う対策をしている。

### 2. 質疑

・1級不合格者は内定先に入社が可能なのか。又、入社後の受験は可能か。

→卒業生は全員内定先に入社している。次年度に1回のみ卒業時と同条件で受験が可能となる。

・分析結果での重点不正解問題は、各自動車メーカーの「売り」となる技術である。教員はカタログ等の確認をしていれば、授業で必ず触れる内容であるはずではないか。

→項目に「抜け」はなかったが、詳細さに不足があった。

・留学生は勿論、日本人の日本語（読解力）には苦しんでいるため、100分の試験時間を60分に短縮し、模擬試験を行う等の工夫をしたらどうなのか。

→時短は既に実施しているが、一方で模擬試験に合格できない学生があきらめてしまう問題がある。

・専門学校だけの平均合格率はどれくらいであるのか。

1 級分科会  
会議録

→全国平均は 80%程度。

・就職内定が早すぎて、油断してしまう等の弊害も原因の一つではないか。

→一考の必要あり。

・中野校でAとBをクラス分けした理由は何故なのか。

→普段の成績により、優劣に分けたことにより、不出来な学生に手厚く指導を行う為であったが、線引きが困難であった。

・世田谷校が良かった理由の分析も必要である。

→世田谷校1級科は、昨年より微増している。クラス運営が成功していた。

⇒次回の会議には、頂いた意見を参考にし、引き続き合格率向上に向けた取組みの報告をする事とする。

## 2級教育課程分科会

### 分科会配布資料

2級分科会  
配布資料

資料1：平成28年度「プロジェクトセミナー教育的価値向上」

### 1. プロジェクトセミナー評価方法

分科会議長より「企業が卒業生に求める能力」等を養う授業の一例として、資料を基に以下の報告がなされ、学外委員の方へ意見を求めた。

→プロジェクトセミナーの概要及び本年度より導入した評価方法(社会人基礎力12項目5段階評価)について

### 2. 意見集約

2級分科会各委員より下記のような意見を頂いた。

評価方法について

・不確実で先が読めない中、自分で判断できる力：産業界で必要とされる能力であり、この取り組みは非常に意味がある。これに加え、学生に気付きを与えるステップをPDCAに盛り込めればより理想的である。

・5段階評価だけではなく、レポートを書かせることにより学生の個性が浮き彫りになる。出席3～4、5段階2～3、レポート3～5程度。ただし採点は非常に労力が要る。

・テーマによって何を学ばせるのか表現が難しい中、期毎のシラバスが解かり易く整備されている。先生方のご苦勞が窺える。

→新しい評価方法の導入により、教員自身がプロジェクト・セミナーの意義を再認識し、評価に関しても緊張感を持ってスタートしている

→担当教員個々の評価スキルを高め、ばらつきが出ない様にする事が肝要と考えている。

授業運営方法について

2級分科会  
会議録

・時間に間に合わせる事より、考えさせる、調べさせる教育に主眼を置くべき。昨今話題となっているメーカーの不正問題等はまさに無理な計画を強引に達成させようとした結果である。適正な目的・計画となっているか？コンプライアンスはどうか？何を一番注意すべきか考えさせることが肝要。事例をもとに考えさせても良い。

・プロジェクトを遂行する上での役割分担を、時折交替させるとより効果的と思われる。

・学生に任せきりではなく、学生が躓いた時に教員に相談できる環境が必要。また学生相互で切磋琢磨できる様な仕掛けが効果的である。

→貴重なご意見を頂戴し大変参考になった。今年度はすでに評価方法を学生に展開し授業を開始している。次年度へ向けて検証をして行きたい。

⇒次回の会議では、新評価方法に基づくプロジェクト・セミナーの実施状況と、その中で見えてきた次年度に向けた課題や改善項目などを報告し、委員から意見を頂く事とする。

◇次回会議日程

平成 28 年 10 月 7 日（金） 15：00～17：00

事務局連絡

会議風景



<全体会>



<1 級課程分科会>



<2 級課程分科会>